

# 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成20年 1月25日

## 【評価実施概要】

|       |   |       |           |
|-------|---|-------|-----------|
| 事業所番号 | 0770800464                                      |       |           |
| 法人名   | 医療法人 佐原病院                                       |       |           |
| 事業所名  | 佐原病院グループホームひまわり                                 |       |           |
| 所在地   | 〒966-0841 福島県喜多方市字さつきが丘101<br>(電話) 0241-23-3715 |       |           |
| 評価機関名 | NPO法人福島県シルバーサービス振興会                             |       |           |
| 所在地   | 〒960-8043 福島県福島市中町4-20 みんなゆうビル302号室             |       |           |
| 訪問調査日 | 平成19年12月15日                                     | 評価確定日 | 平成20年2月1日 |

【情報提供票より】 (平成19年10月24日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                  |                      |      |
|-------|------------------|----------------------|------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 17年 3月 19日 |                      |      |
| ユニット数 | 2 ユニット           | 利用定員数計               | 18 人 |
| 職員数   | 13 人             | 常勤 13人, 非常勤 0人, 常勤換算 | 13人  |

### (2) 建物概要

|      |       |      |
|------|-------|------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り |      |
|      | 2階建ての | 2階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |          |                |       |
|---------------------|----------|----------------|-------|
| 家賃(平均月額)            | 30,000 円 | その他の経費(月額)     | 0 円   |
| 敷金                  | 有( ) (無) |                |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( ) (無) | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費                | 朝食       | 円              | 昼食 円  |
|                     | 夕食       | 円              | おやつ 円 |
|                     | または1日当たり |                | 780 円 |

### (4) 利用者の概要

|       |           |      |      |    |      |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名      | 男性   | 2 名  | 女性 | 16 名 |
| 要介護1  | 7 名       | 要介護2 | 8 名  |    |      |
| 要介護3  | 2 名       | 要介護4 | 0 名  |    |      |
| 要介護5  | 0 名       | 要支援2 | 1 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 86.1 歳 | 最低   | 74 歳 | 最高 | 96 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 協力医療機関名 | 医療法人 佐原病院、あきら歯科病院 |
|---------|-------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成17年3月に開設した、鉄骨2階建ての2階部分を利用した2ユニットのホームであり、1階はデイサービスの施設となっている。ホームは住宅街にあり、共用スペースはテーブルやソファが機能的に配置にされ利用者は思い思いの場所で過ごしている。地域ボランティアの方々の来訪等により、積極的に地域との交流の機会を設け、実践している。また、管理者を中心に若手職員のチームワークが良く、訪問時、利用者の声が弾んでいて、表情も穏やかで昼食時のBGMが自然な形で流れていた。

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)   |
|       | 前回評価での改善事項は無い。   |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)  |
|       | 自己評価に対して全員で取り組んでいる。特に評価項目の意義を考え、どの様に対応したらよいか検討をして、実践している。  |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)  |
|       | 運営推進会議の主な内容は、ひまわり入居者の状況、各委員会報告、各種行事に関する事項、事故発生状況等の報告が主な内容である。行事についてはホームの年間行事を計画し、地域の行事を加味したホームの利用者に配慮した内容となっている。回を重ねるごとに地域との連携が取りやすくなり、地域に根ざしたホームの活動が容易になってきている。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)  |
|       | 家族からの意見や要望は、運営推進会議の開催時や、ご意見の窓口より収集し、利用者の思いも容易に把握できるようになっている。ターミナルケアに関しては、積極的に取り組み、利用者の重度化と看取りに関する方針を作成し実践している。   |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)   |
| 重点項目④ | 地域向けの広報紙「ひまわり」を発行し、グループホームへの理解を深めてもらう働きかけを行っている。ホームの年間行事のお誘いや地域の行事に参加にすることにより、地域との交流も深まり、改めてホームの役割などを認識し、連携に努めていた。   |

## 2. 評価結果 (詳細)

| 外部評価                         | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>           |      |   |   |                      |                                   |
| <b>1. 理念と共有</b>              |      |   |   |                      |                                   |
| 1                            | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 地域密着型サービスの役割を考えながら、「私たちの理念」という具体的な独自の理念を作りあげている。  |                      |                                   |
| 2                            | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 理念は月一回のカンファレンス会議等で職員に説明し、利用者・家族・来訪者にも見えるところに掲示し、日々、共に理念を意識し、サービス提供の場で理念の実践に生かせるよう取り組んでいる。                         |                      |                                   |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |   |   |                      |                                   |
| 3                            | 5    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 近くの中学校の文化祭を見学したり、地域の方々とイモ煮会を行うなどして、孤立することなく地域の人々と交流できるように努めていた。また、近くの小学生のボランティアを受け入れたり、グループホームへの理解を深めてもらう活動をしている。 |                      |                                   |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |   |   |                      |                                   |
| 4                            | 7    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 全職員が自己評価に携わり、そのねらいや活用方法等を話し合い再認識すると共に、改善計画に役立っている。  |                      |                                   |

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| 5                      | 8    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている              | 定期的（二ヶ月に一度）の運営推進会議を実施している。事業所の取り組み等を報告して、参加者から意見や要望には対応し、運営推進会議の結果を職員で話し合い、サービスの質の確保を図っている。                       |                      |                                   |
| 6                      | 9    |  |   |                      |                                   |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |   |                      |                                   |
| 7                      | 14   | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている                              | 金銭出納帳を作成し、毎月請求書送付の際に金銭管理等の報告をしている。また、個々に利用者の様子を本人のコメント（自筆による物と代筆がある）を記入し家族に報告している。                                |                      |                                   |
| 8                      | 15   | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族の訪問時に要望を聞き取り、意見や苦情を反映する体制が構築され、速やかに改善する努力をしている。また、ご家族用の宿泊部屋があり、家族との接点を多く取り率直な要望を出してもらい、それを全職員で検討し、サービス向上に努めている。 |                      |                                   |
| 9                      | 18   | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 管理者は利用者と職員の馴染みの関係の重要性を自覚しており、新職員の配置、移動等については、利用者の負担を最小にするための検討をしている。  |                      |                                   |


| 外部評価  | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|---|------|--|--|----------------------|---|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>                                  |      |  |  |                      |   |
| 10  | 19   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                              | 職員の段階に応じて認知症介護スキルアップ等の研修会に参加し、研修の機会を設けている。しかし、職員が働きながら技術や知識を身につけていくための計画等が不足していると思われる。 | ○                    | 外部の研修に参加して、参加後の発表を通して意識を高める努力をするとともに、今後は段階に応じて育成するための計画を立て、働きながらトレーニングできる体制作りが望まれる。 |
| 11  | 20   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている                    | 同法人運営のグループホームとの研修会に参加したり、市の協議会等で情報交換をしている。管理者は質の確保のため、他法人との交流・連携等も計画している。              |                      |   |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>                          |      |  |  |                      |   |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b> |      |  |  |                      |   |
| 12  | 26   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護) | /  |                      |   |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>                    |      |  |  |                      |   |
| 13  | 27   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                                     | 職員はお礼の言葉として、「ありがとう。」「助かります。」等の言葉を常に心がけ、利用者と共に働きながら意識し、お互いに支え合いながら生活している。               |                      |   |

| 外部評価  | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>          |      |   |  |                      |                                   |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                          |      |   |  |                      |                                   |
| 14  | 33   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 職員は、日常会話の中で利用者の立場に立った思い・希望を把握するよう努めている。確認した利用者の思い・希望は職員全員で情報を共有し、サービスの提供に努めている。                            |                      |                                   |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>       |      |   |  |                      |                                   |
| 15  | 36   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 職員や管理者は、訪問時や電話の際にも家族の意見を聞き出すよう心がけている。センター方式による介護計画を作成し、日常会話の中で把握された利用者の思いを反映した介護計画となっている。                  |                      |                                   |
| 16  | 37   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的な長期、短期モニタリングが実施されている。また、日々気づいたことを報告する体制が整備されているため、職員が利用者の状態変化にすぐに気づき、その状態変化に合わせて介護計画を見直し、ケアプランに反映させている。 |                      |                                   |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b> |      |   |  |                      |                                   |
| 17  | 39   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)                       | /  |                      |                                   |

| 外部評価                               | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |   |  |                      |                                  |
| 18                                 | 43   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している             | 利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。通院介助は職員が代行しており、受診結果は家族に報告し情報を共有している。   |                      |                                  |
| 19                                 | 47   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 利用者の重度化と看取りに関する方針を作成している。利用者・家族と職員間で情報を共有しながら対応している。また、緊急時の入院先は前もって決めており、重度化した利用者に対しては、随時医師と連携し家族と話し合いながら支援している。 |                      |                                  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |      |   |  |                      |                                  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |   |  |                      |                                  |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |      |   |  |                      |                                  |
| 20                                 | 50   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 管理者及び職員はプライバシー確保の具体的な確認事項について、日々の関わり方を点検し、利用者一人ひとりの誇りを尊重して、対応の徹底を図っている。また利用者等に「個人情報使用に関する同意書」について説明し、同意を得ている。    |                      |                                  |
| 21                                 | 52   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 一人ひとりの生活のリズムやその日に利用者がしたいと思っていることを大切にして、利用者の体調や思いに配慮しながら、支援している。食事、買い物、外出、入浴等、利用者の希望を取り入れ支援している。                  |                      |                                  |

| 外部評価   | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>                      |      |   |  |                      |                                  |
| 22   | 54   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている                  | メニューは利用者と（頂き物の野菜で何を作ろうかなど）相談しながら決めるようにしている。利用者がそれぞれ自分の役割（配膳、片付け）を自然に行っており、職員も利用者と一緒に食事を楽しんでいる。 |                      |                                  |
| 23   | 57   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している                 | 利用者の希望に沿った入浴ができる体制が構築されており、一人ひとりの生活習慣やそのときの利用者の好みを大切に支援をしている。職員は、利用者の羞恥心等に十分配慮して対応している。        |                      |                                  |
| <b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</b> |      |   |  |                      |                                  |
| 24   | 59   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている（認知症対応型共同生活介護） | 食事の配膳や食後の片づけ等利用者のできることは自然に行っており、自分らしく暮らせるように、利用者にあった役割や楽しみを支援している。                             |                      |                                  |
| 25   | 61   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している（認知症対応型共同生活介護）                   | 一人ひとりの習慣や楽しみごとを基本に、日常的な外出になることなく、利用者に合わせた外出（ドライブ、買い物）と利用者の体調や気候に応じて支援している。                     |                      |                                  |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b>                                    |      |   |  |                      |                                  |
| 26   | 66   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                        | ホームの玄関は施錠していない。ユニットごとに職員がさりげなく見守り、外出の気配を察知し、一緒についていくなどして安全を確保している。                             |                      |                                  |

| 外部評価                              | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                            |
|-----------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| 27                                | 71   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 年に1度避難訓練を計画し、非常災害時連絡網を作成し災害に備えているが災害時の備蓄について、不十分な点があると思われる。                              | ○                    | 今後は、災害時、最低限の備蓄等を備えてほしい。また、避難限界時間の算定等も行い、非常災害時に備えられればよいと思われる。 |
| <b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |      |   |  |                      |  |
| 28                                | 77   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 毎日、職員は利用者の食事や水分の摂取状況を確認し記録している。定期的に、栄養士のアドバイスをもらい支援している。                                 |                      |  |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>    |      |   |  |                      |  |
| <b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>            |      |   |  |                      |  |
| 29                                | 81   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用生活空間は広く、明るく、利用者が安らぎ居心地よく過ごせるような造りであり、生活感や季節感のあるものを配置し、自分の力でその人らしく過ごせる場となる様な工夫と配慮をしている。 |                      |  |
| 30                                | 83   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 利用者一人ひとりの生活スタイルに合わせて、馴染みの物を持ち込み利用者が過ごしやすい居室となっている。居室内にはテレビ等もあり、各自が自由に過ごしている。             |                      |  |

※  は、重点項目。



### 3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 佐原病院グループホームひまわり

記入担当者名 伊藤 優子

#### 評価結果に対する事業所の意見

特になし

#### 評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。